

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この結果をもとに本校でも指導の在り方を振り返り、今後の改善を図ります。

1 教科結果から

平均正答率	国語	算数
本校	63	52
安芸太田町	63	54
広島県	69	64

2 教科における課題から

国語 「文章と図表やグラフなどを結び付けて必要な情報を見つけること」「見つけたことから自分の考えを条件に合うように書くこと」に特に課題が見られました。

そこで、何を問われているのかを読み取り、それに対する自分の考えをまとめる学習を進めていきます。例えば、図やグラフと文章が結び付いている新聞記事について視点を持って読み取る学習を授業や学力補充の時間、家庭学習などに取り入れていきます。

算数 「図形の性質や図形の計量について考えること」「目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えること」について特に課題が見られました。

そこで、6年生で学習する単元が始まる前に、系統的に復習をしてから学習を進めていきます。例えば、復習プリントをし、自分の弱点を見つけ、克服してから新出事項を学習したり、学力補充の時間、家庭学習に弱点の箇所についての学習を取り入れたりしていきます。

3 生活と学習に関する調査から

「自分の考えを友達との話し合いを通して深めること」について課題が見られました。そこで、学校生活の中で今まで以上に話し合いを自分たちで進め、問題を解決し、考えを深めていく体験を多くしていきます。授業はもちろん、学校行事等でも、高学年として自分たちで課題を話し合い、解決に向かって協力して進めていく体験活動を多く取り入れていきます。

また、「本を読むこと、新聞を読むこと」についても課題が見られました。そこで、朝会時の読書活動を充実させたり、校内に設置している新聞を授業や家庭学習で活用させたりしていきます。

学校として、授業改善をし、自ら課題を発見し、学ぼうとする意欲を育てていくとともに、家庭と連携を図り、さらなる学力の定着を図っていきたいと思います